

長崎県議会議員 深堀ひろしだより

第24号

平成29年 4月発行  
発行責任者／深堀ひろし

背景：白木峰高原の菜の花

元気な

# よかけん

街 創る



九電ユニオン島原営業所分委行事にて

ごあいさつ

春光うららかな季節を迎え、我が家にも家族が一人増えてまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、県議会も年度が変わり、委員会構成などが変更となりました。

昨年度は観光振興等対策特別委員長と拝命し、本県の基幹産業である観光産業振興策について種々議論をし、様々な政策提案を行いました。

特筆すべきこととしては、私の提案で直接観光産業に携わる宿泊業界及び旅行代理店の方々と委員会に招き、課題等について率直な意見交換を実施しました。

これまで委員会審議だけでは把握出来なかった切実な課題を県議会として共有出来ることは、貴重な経験であったと思います。

一方、新年度は5年ぶりに環境生活委員会に所属することとなりました。

道路行政や環境対策、県民協働や公共交通など幅広い委員会ですが、ある意味、県民生活に身近な委員会だと思います。これまで多くの皆様から御提示いただいた課題の解決に向けて努力して参ります。

最後に今年度、長崎県監査委員へ就任したことをご報告いたします。

監査委員とは、本庁をはじめ県内各地にある県機関が適正に業務を遂行しているかチェックする役割です。

当然のことですが、現在の議員としての仕事に加えて、活動は倍増しております。年間の活動期間は40～50日間以内であり、多忙を極める一年間となります。

しかしながら、監査委員という重責を誇りに思い、一所懸命取り組む決意を新たにしております。

皆様の叱咤激励をよろしくお願い申し上げます。

深堀 ひろし

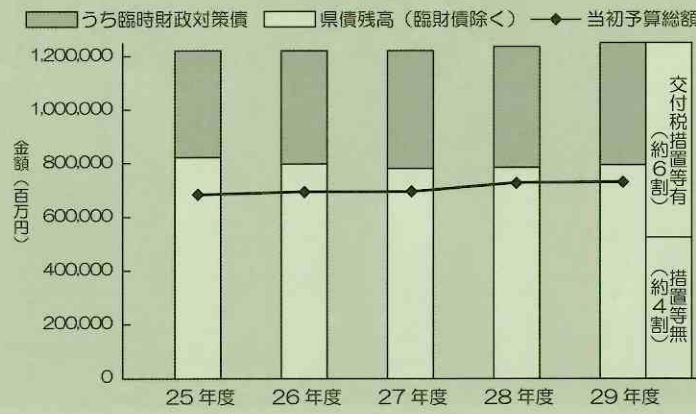


# 県の一般会計予算 7,245 億円を決定！！

## 平成 29 年度当初予算編成の基本方針

- 新しく創設される有人国境離島法関係の交付金等をしっかりと活用し、国境離島における雇用の確保や交流人口の拡大のための施策を関係市町や地域の方々と一体となって強力に推進
- 「長崎県総合計画チャレンジ2020」の2年目を迎えることから、初年度の施策について、しっかりと検証を行いながら、より具体的な成果を県民の皆様にお示しできるよう、これまでの取組をさらに強化

## 一般会計当初予算額と県債残高の推移



	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県債残高	1,218,991	1,218,401	1,218,818	1,228,882	1,241,447
うち臨時財政対策債	393,935	419,971	438,944	448,011	452,753
県債残高(臨時財政対策債除く)	825,056	798,430	779,874	780,871	788,694
当初予算総額	681,268	693,400	692,800	724,702	724,504

(注) 県債残高の平成 28 年度は 2 月補正後、平成 29 年度は当初予算  
 県債(借金)のうち約6割が交付税措置(国が負担)によるものですが、残高/北の交付金は多すぎたと思っております。

## 平成 29 年度の主要事業

- 有人国境離島地域の活性化**  
特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 (仮称)  
新たに創設された特定有人国境離島地域社会維持推進交付金 (仮称) 等を活用し以下の事業を推進
- 国境離島創業・事業拡大等支援事業費 963 百万円**  
国境離島地域において、民間事業者が雇用増を伴う創業・事業拡大を行う場合の設備投資資金や人件費、広告宣伝費などの運転資金を支援
- 国境離島航空運賃軽減事業費 986 百万円**  
**国境離島航空運賃軽減事業費 379 百万円**  
国境離島地域において、継続的な居住が可能となる環境を整備する観点から、住民等の航空・航空路運賃を低廉化する経費の一部を支援
- 国境離島輸送コスト支援事業費 151 百万円**  
国境離島地域において、本土からの遠隔性に起因する不利条件を緩和するとともに、基幹産業である農水産業の振興を図り雇用を拡充する観点から農水産品全般(加工品以外)の出荷や原材料等の輸送にかかる費用を支援
- しま旅滞在促進事業費 380 百万円**  
魅力的で利用しやすい滞在プランや旅行商品を通じて、しま旅の滞在型観光を推進

## 県税の状況

県税収入は、個人県民税の増加(+14 億円)の一方で、地方消費税の減少(△31 億円)に伴い、H28 当初予算の 1.2% 減となる 1,112 億円を計上。

### ◎県税等の動向(当初予算の推移) (単位: 億円、%)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
県税	970	1,001	1,079	1,126	1,112
伸び率	△0.3	3.2	7.8	4.4	△1.2
うち個人県民税	365	359	354	361	375
伸び率	6.4	△1.7	△1.4	2.2	3.8
うち地方消費税	146	164	244	252	221
伸び率	△2.5	12.2	48.5	3.1	△12.3
うち法人2税	177	189	202	229	244
伸び率	△4.1	7.0	6.8	13.5	6.4

## 本県の地方創生を推進する9つのプロジェクト

- 観光とスポーツを核とした「稼げる観光産業」創出プロジェクト 586 百万円**  
誰もが長崎の旅を楽しめるストレスフリーの旅を創出するため、バスやタクシーなどを活用した周遊ツアー造成や交通経路検索システムの充実、航空便による訪日外国人の「ゴールデンルート」からの本県への誘導 ほか
- 小さな楽園拡大連携プロジェクト 381 百万円**  
“じげもん魂” 拡大  
移住促進のため、しまの魅力や若者などターゲットを絞った情報発信の強化「ながさき移住サポートセンター」と連携した農林水産業を含む人材の確保 ほか
- 離島・半島を中心とした「稼げる食品製造業」創出プロジェクト 350 百万円**  
一気通貫のバリューチェーン構築  
高度加工化や衛生体制の強化に対する支援、実態調査に基づく効率性の高い輸送方法など物流コスト低減対策を検討 ほか
- 国境のしま地域商社プロジェクト 56 百万円**  
しまの地域商社を全力応援!  
しまの優れた地域資源の新たな市場確立に向けたブランド化や販路開拓を図る国境離島関係市町の「しまの地域商社」の活動をサポート ほか
- 水産経営のネクストステージへ 338 百万円**  
水産経営のネクストステージへ  
養殖産地の活性化のため、養殖業者等が連携して各産地のニーズに応じた「養殖産地育成計画」を策定し、中核グループの協業化の取組による生産性向上等を支援 ほか
- 「日本一の長崎和牛」生産力増強・統一ブランド推進プロジェクト 104 百万円**  
増頭  
肥育農家と繁殖農家の連携による一貫生産体系の推進や「長崎型新肥育技術」の普及・拡大、農業団体等と協調した長崎和牛肥育農家の維持・増頭にかかる資金繰りへの支援を実施 ほか

## ◎一般会計予算総額 7,245 億円 対前年度当初比△0.0%

2年連続の7千億円台を確保!!  
レガレ、要は中身の問題です。

	28年度当初 ①	29年度当初 ②	増減額 ②-①③	伸率 ③/①
一般会計	724,702	724,504	△198	0.0
公債費	110,130	106,232	△3,898	△3.5
その他	614,572	618,272	3,700	0.6

## 地方交付税等の状況

臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は、国全体の地方交付税総額の減少や、国勢調査人口の置換に係る経過措置の縮減に伴い、H28 当初予算の 1.1% 減となる 2,501 億円を計上。

### ◎地方交付税等の動向(当初予算の推移) (単位: 億円、%)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
地方交付税	2,187	2,163	2,154	2,224	2,201
伸び率	△1.4	△1.1	△0.4	3.3	△1.1
交付税+臨時財政対策債	2,635	2,613	2,518	2,529	2,501
伸び率	△1.7	△0.8	△3.6	0.4	△1.1

## 基金・県債の状況

### ◎財源調整3基金の取り崩し状況 (単位: 億円)

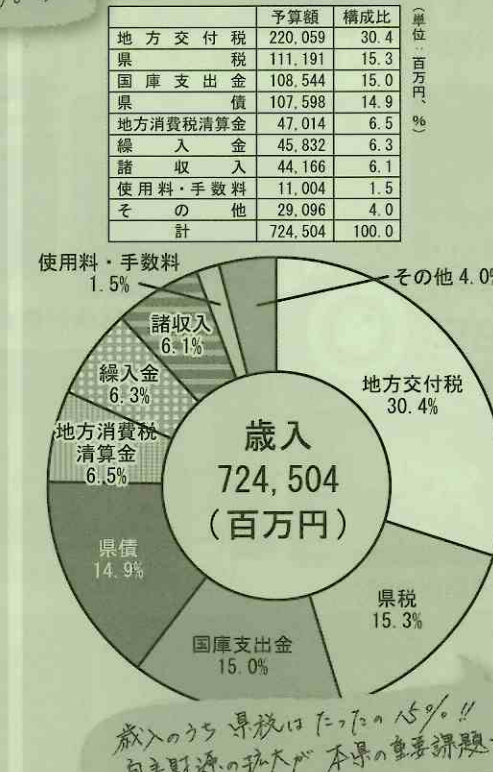
	28年度			29年度	
	当初	2月	決算	当初	決算
当初取崩し	230	200	161		
最終取崩し	29	33	4	199	14
年度末残高	324	294	305	9	254

※ 28 年度、29 年度の最終残高は過去の基金の戻りを考慮した年度末の推計値  
 (収支改善等)  
 ・借換債の増発+35 億円  
 ・臨時的な収入+15 億円  
 ・収支改善等 +14 億円  
 +64 億円  
 中期財政見通し 190

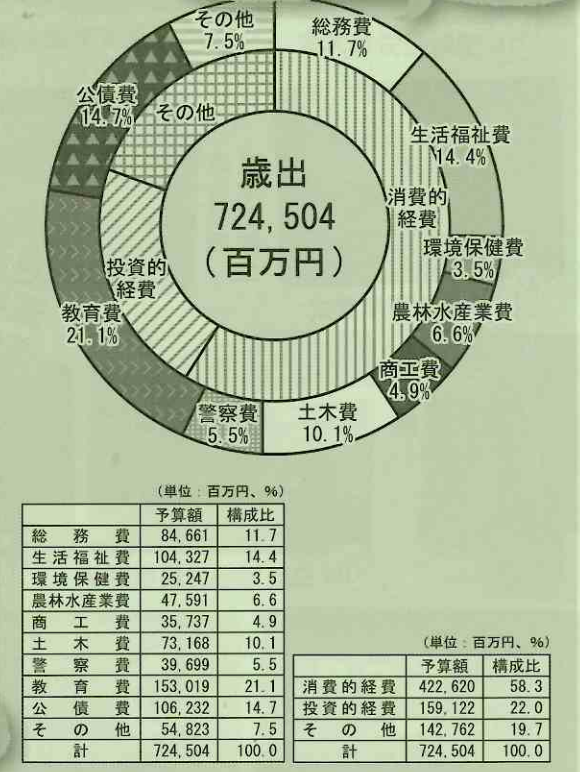
当初予算で基金残高は9億円まで減少!!  
逆に財源が底をついた感があります。

## 平成 29 年度 当初予算の状況

消費的経費が約6割!!  
自由度の高い予算編成だと思います。



歳入のうち県税はたったの15%!!  
自主財源の拡大が本県の重要課題です。



消費的経費 422,620 (58.3%)  
 投資的経費 159,122 (22.0%)  
 その他 142,762 (19.7%)

## 少子化対策の総合的展開

- ながさき少子化克服戦略構築事業費 90 百万円**  
少子化の要因、対策について市町等と協議・意識共有を図り、市町毎の少子化克服戦略を策定し、戦略を実現させるための効果的な施策を検討
- 保育士人材確保等事業費 15 百万円**  
○ 復職の見込みのある潜在保育士に対し、復職支援情報の提供  
○ 「保育士・保育所支援センター」の運営、合同就職面談会の規模拡充
- 乳幼児医療費助成費 784 百万円**  
乳幼児の健康維持と保護者の負担軽減のため医療費の一部を助成  
子供たちの声があふく県政を目指します。





## 環境生活委員会での私の質疑概要（抜粋）

**質問** 松が枝地区再開発構想検討事業費とは、どのような検討を行うのか。

**回答** クルーズ船の入港が増えているため、松が枝埠頭の2バース化を進めているが、新たな岸壁背後地は、街づくりの観点からも重要な土地となるため、民間事業者の参入を促して、有効活用出来るよう、関係者等と活用構想を検討するもの。

**要望** 周辺の民間造船所を含めた広大なスペースであり、南部方面の交通拠点ともなり得る場所であるため、長崎市とも十分連携を図り活用策を検討すべき。

**質問** 県営バスが社会実験として運用した免許返納者バス（1ヵ月3,000円で乗り放題）の実績はどうであったか。

**回答** 諫早市、大村市で延べ180名が利用しており、一定の効果があったことから、29年度は本格実施として長崎市まで拡大する予定である。

**要望** 高齢者による交通事故減少対策としてこの制度は有益であるが、県営バス単独の事業では効果が広がらない。他の公共交通事業者と連携するとともに、福祉保健部や警察本部など部局横断の事業として県内各地に展開していくこと、そして、利用期間が1年限定では、その後の高齢者の生活が守れない。大きな財源が必要になるが、期間限定を撤廃できるよう努力してほしい。



2/11 深町組労組大会



2/17 野口長崎市議会議長祝賀会



2/7 教育委員会表彰式



1/22 馬淵代議士と



3/1 長崎北高卒業式

1/6 連合長崎  
新年交歓会



2/18 九州総連研修会



1/8 武道初め大会



2/22 椿展



1/10 三菱電機労組旗開き



1/7 消防出初式



1/21 民進党本部会議



3/15 山里中学校卒業式



1/8 成人式



2/19 立石トンネル開通式



3/1 地元街宣



3/1 鳴滝高卒業式



長崎県議会議員  
**深堀ひろし**

長崎市平和町4-20  
TEL 095-894-8470  
FAX 095-894-8471



お気軽にお立ち寄りください

\*インターネットでも深堀ひろしの活動報告をご覧いただけます  
<http://www.fukahorihiroshi.net/>

